

2022（R4）年度「学校評価」

学校法人三位一体会 暁の星幼稚園

目的・より良い幼稚園教育を目指して、運営状況を評価し、園運営の改善を図る。

- ・評価結果等を広く保護者等に公表し、理解、協力のもと連携を深め、地域に愛される幼稚園として理想に向かって、施設、環境、教育内容の充実、及び教職員の資質向上に努める。

2021年度に実施した学校評価の結果を受け止めて、2022年度の改善に努めてきた実践を振り返り、課題を明らかにして今後の取り組みに活かし、教職員の資質向上に努めていく。

教育理念

暁の星幼稚園は

「いつも喜んでいなさい 絶えず祈りなさい どんなことにも感謝しなさい」

これこそキリスト・イエスにおいて神があなたがたに望んでおられることです

(テサロニケの信徒への手紙1 5：16～18)

この聖パウロの勧めを日々生きていくことをめざし

キリスト教カトリックの精神に基づいて

**個性を尊重し、個性に応じた環境を与え、発達を助け、家庭教育を補い、
社会のよき一員となるよう教育を行う。**

- ・神を身近に感じながら、祈る心と自分や周囲の人、周りのものすべて（家族、友達、神様の愛、言葉や文化等）を大切に作る心を育みます。
- ・命の尊さ、自然の不思議さ、美しさ、神様の愛、人の優しさに気づき、感謝し、平和を祈る心を育てます。
- ・おしごと、体操、絵の部屋、木工教室など全てに共通してモンテッソーリ教育の“選び”を大切にし、自ら発見できる楽しさと、出来るまでやり遂げようとする強い心を培い、自立へ導きます。
- ・縦割りクラスの中で、見習うこと、待つこと、赦し合うこと、人のために奉仕すること、共に喜ぶことなどを学び、思いやりや社会性の基礎を培います。
- ・「ありがとう」「ごめんね」言葉で自分の思いを伝え、相手の思いに気づき、喜びや、悲しみを共感できる心を育てます。
- ・先生や友達と共に過ごす喜びの中で、みんなと仲良くして、心身の健やかな成長を目指します。

2022年度の重点目標と教職員の具体的な取り組み

重点目標 「子どもの“今”を職員間で共有しながら丁寧な保育を心がける」

具体的な取り組み

1, コロナ禍での保護者との共通理解

- ・コロナが流行し3年、園での子どもたちの様子を保護者の方に見て頂くことが難しかった。そんな中でも職員と保護者との共通理解をしながら子どもたちを見ていくにあたって、保護者の声を聴くために“暁の星アンケート”を行った。暁の星幼稚園について知りたいこと、困っていること、悩みなど様々な回答があった。アンケートの中にあつた質問については、園だより、ホームページ、園長の話、また個人的な質問については担任から個別に答えた。モンテッソーリ教育については実際に保護者の方々に向けてのお話する機会を持ち、その中で実際に保護者の方にも“お仕事”を体験して頂いた（主任より）。給食のレシピを知りたいという声も多く、人気のあるものなどを手紙で配布した。
- ・また「子どもの様子が見たい」という声が特に多く、3年ぶりに自由参観を行った。日時を決めず（日時を指定すると逆に密になるのではという考えから）、5日間どの時間帯でも自由に参観して頂く形態をとった。体操は部屋が狭いため、どうしても密になってしまうのでその期間の体操は行わなかった。年長児にとっては3年間ではじめての参観となり、「最後に子どもたちの姿を見ることが出来てよかった」と保護者の方々も喜ばれていた。

2, 子どもの“今”を職員で共有する

終礼の時に、クラス、外遊び、横割りの活動、分散給食、それぞれの場面での子どもたちの様子をより意識的に分かち合い、共有するよう心掛けた（非常勤の職員も出勤してまず前日の日誌を見て把握してもらうようにした）。気になる子、自己表現の上手な子、逆に自己表現をあまりしない子には必然的に目が行くが、普段あまり目立たない子にも意識的に目を向け頑張りを認めたり、共に成長を喜んだりすることも、子ども一人ひとりに対する“丁寧な保育”には欠かせないことだと改めて感じ、職員みんな意識しながら保育を行った。

3, 職員が働きやすい職場にするために改善できる点を考え、実践に移す

- ・ 16時からの終礼は定着し、終わり次第解散できるように、以前よりは早く帰りやすい雰囲気にはなったが、帰りたくても仕事量が同じであれば帰れない。時間の確保や効率の良いやり方を考える必要がある。
- ・ 結婚（出産）しても働ける職場にするため、産休・育休の制度を取り入れて頂いた。

4, 2022年度の自己評価の視点

第1部 今年度のねらい「子どもの“今”を職員間で共有しながら丁寧な保育を心がける」について以下6点、また具体的な取り組みの「職員の退勤時間について」以下2点の評価項目で実施した。

- (1) あなたはいつもねらいを心がけて日々を送りましたか？
1, はい、いつも 2, 大体いつも 3, 時々思っていた 4, 全く忘れていた
- (2) 問1で、1, 2と回答した方は、ねらいを心がけた結果どうでしたか？
1, 達成できた 2, 大体達成できた 3, 努力はした 4, できなかった
- (3) 子どもにとっての今（その時々成長や、困っていること、今頑張らなければいけないこと）に気づき、一人ひとりにあった関わりをすることができましたか？
1, できた 2, 大体できた 3, 努力はした 4, 難しかった
- (4) 気付いたことを職員間で話し、次の行動に移せましたか？
1, できた 2, 大体できた 3, 努力はした 4, 難しかった
- (5) 丁寧な保育が出来たと思いますか？
1, できた 2, 大体できた 3, 努力はした 4, 難しかった
- (6) このねらいを通して感じたことを自由に書いてください。

※退勤時間について

- (7) 16:00に終礼を始めることができた。
1, できた 2, 大体できた 3, 努力はした 4, 難しかった
- (8) 先輩後輩を気にせずに帰れる雰囲気がある。
1, ある 2, 少しはある 3, 少し帰り辛い 4, かなり帰り辛い

第2部 今年度は保護者へのアンケートも行った。以下9点の評価項目で実施した。

- ① 子どもは喜んで幼稚園に通園している。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ② 園は一人ひとりの子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ③ 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身に付くように努めている。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ④ 園は子どもたちが直接自然と触れ合い、花・小動物・虫などの命の大切さに気付くように過ごしている。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ⑤ 園のホームページで良く情報公開をしている。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ⑥ 家庭でも子どもたちがお祈りしている姿をよく見る。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ⑦ この1年の行事について満足している。
A,そう思う B,やや思う C,あまり思わない D,そう思わない
- ⑧ 子どもを預けるうえで、幼稚園に不安なことがある。
A,ある B,ない

*A ある と回答された方は、どんな部分に不安があるか教えてください。

- ⑨ ご意見、ご感想など、どんなことでもご自由にお書きください。

第3部 昨年と同じ項目の自己評価を主幹教諭が代表して行い改善の状況を確認した。

(P14～)

第1部

令和4年度 学校評価職員アンケート

令和4年度ねらい 「子どもの“今”を職員間で共有しながら丁寧な保育を心がける」

回答者 12名

(1) あなたはいつもねらいを心がけて日々を送りましたか？

- 1, はい、いつも 2
- 2, 大体いつも 4
- 3, 時々思っていた 6
- 4, 全く忘れていた 0

(2) 問1で、1、2と回答した方は、ねらいを心がけた結果どうでしたか？

- 1, 達成できた 0
- 2, 大体達成できた 4
- 3, 努力はした 3
- 4, できなかった 0

(3) 子どもにとっての今（その時々の成長や、困っていること、今頑張らなければいけないこと）に気づき、一人ひとりにあった関わりをすることができましたか？

- 1, できた 2
- 2, 大体できた 5
- 3, 努力はした 5
- 4, 難しかった 0

(4) 気付いたことを職員間で話し、次の行動に移せましたか？

- 1, できた 3
- 2, 大体できた 7
- 3, 努力はした 2
- 4, 難しかった 0

(5) 丁寧な保育が出来たと思いますか？

- | | |
|----------|---|
| 1, できた | 5 |
| 2, 大体できた | 6 |
| 3, 努力はした | 1 |
| 4, 難しかった | 0 |

(6) このねらいを通して感じたことを自由に書いてください。

- ・共有していくことで、違うクラスのことよりも意識的に見ていくことが出来た。終礼も早く始まることで、時間内にしっかりと話が出来たように感じる。
- ・子どものことを共有することで職員間のコミュニケーション力も高まり、保育もチームプレイとして行うことが出来たと感じる。
- ・共有することで意識も同じ方向にあると感じた。
- ・日々の掃除の時間や終礼時にもできるようになった所や、もう少し頑張っしてほしい所など、共有できていたと思う。相談にも親身になって話を聞いてくださるため、話しやすかった。来年度も、より丁寧に一人ひとりを見つめていけるようにしたい。
- ・ねらいを思い出すことがあまりなかったことは反省です。ですが、ねらいの内容は意識して過ごせました。今年度のねらいは分かりやすく振り返りやすかったです。
- ・ねらいを意識して保育できていたか問われると不十分だったように思うが、園児・保護者一人ひとりと向き合い、関わる努力はしてきた。
- ・子どものことに対する職員間での共有は十分に出来たと思う。気になる子や、自己表現の上手な子、逆に自己表現をあまりしない子には必然的に目が行くが、普段あまり目立たない子（中間の子）にも意識的に目を向け、頑張りを認めたり、共に成長を喜んだりすることも、子どもたち一人ひとりに対する“丁寧な保育”には欠かせないことだと、このねらいを通して改めて感じた。
- ・子どものことは職員間で共有できていたと思うが、職員同士でのコミュニケーションが取れていないと感じる。それが保護者にも伝わっているのではないかと思う。みんなで共有しておかないといけないことは、きちんと前もって周知して頂きたい。
- ・常に先生方には子どものこと、出来事については話をしたり、相談するようにしていた。このことは園の中でどの先生もその子を大切にしているという点で、とても大切なことで次の保育につながると思います。良いねらいだったと思います。
- ・パートなので、子どものことを知る機会としては、日々の日誌のみなので全クラスの把握は難しいと感じた。担当のクラスでは、担任と空いた時間に話すように心がけると、保育もスムーズで、同じ気持ちで子どもに関われたと思う。職員間での共有は改めて大事なことだと感じる1年だった。

- ・勤務時間の都合上、掃除中などの時間に話すことが多いですが、子どもの姿、様子を共有することでその後どのように関わっていくかを一緒に考えることが出来たと思います。小さな出来事でもまず話して共有することは大切だと思いました。
- ・次年度も引き続き行っていきたいと思います。

※退勤時間について

(7) 16:00に終礼を始めることができた。

1, できた	1
2, 大体できた	6
3, 努力はした	1
4, 難しかった	0

- ・面談や中や来客時など、どうしても難しい時がある。

(8) 先輩後輩を気にせずに帰れる雰囲気がある。

1, ある	1
2, 少しはある	3
3, 少し帰り辛い	4
4, かなり帰り辛い	0

- ・17時が終礼で帰りたくても、仕事量が同じでは帰れない。仕事量が変わらないのであれば、時間の確保や効率の良いやり方に改善しなければいけない。

第2部

暁の星アンケート保護者 結果

回答者 95名

- ⑩ 子どもは喜んで幼稚園に通園している。
- A, と思う 70 C, あまり思わない 5
B, やや思う 20 D, そう思わない 0
- ⑪ 園は一人ひとりの子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている。
- A, と思う 73 C, あまり思わない 2
B, やや思う 20 D, そう思わない 0
- ⑫ 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身に付くように努めている。
- A, と思う 84 C, あまり思わない 2
B, やや思う 9 D, そう思わない 0
- ⑬ 園は子どもたちが直接自然と触れ合い、花・小動物・虫などの命の大切さに気付くように過ごしている。
- A, と思う 78 C, あまり思わない 0
B, やや思う 16 D, そう思わない 0 わからない 1
- ⑭ 園のホームページで良く情報公開をしている。
- A, と思う 26 C, あまり思わない 17
B, やや思う 49 D, そう思わない 2 わからない 1
- ⑮ 家庭でも子どもたちがお祈りしている姿をよく見る。
- A, と思う 12 C, あまり思わない 33
B, やや思う 37 D, そう思わない 12 わからない 1
- ⑯ この1年の行事について満足している。
- A, と思う 64 C, あまり思わない 4
B, やや思う 26 D, そう思わない 1
- ⑰ 子どもを預けるうえで、幼稚園に不安なことがある。
- A, ある 9
B, ない 86

- *A ある と回答された方は、どんな部分に不安があるか教えてください。
- ・不審者が侵入してきた場合の対応マニュアルがあるのか不安
- ・火事だけではなく地震等が原因での避難訓練をしているのか
- ・幼稚園自体に新しいことを取り入れるのを拒否する雰囲気を感じる。大人の事情で「面倒くさい」が先に立つと園の魅力が減る一方で勿体ない。できない理由から言わず、できる方法を探して欲しい。
- ・園の坂道の斜面に足がずり落ちそうな箇所があり心配。整備の必要性を感じる。
- ・誰でもいつでも園内に入れるので、不審者が侵入した際に気付くのが遅れ、危険なのは。
- ・コロナ対応は良くなかった。(マスクを徹底して欲しかった。コロナが出たクラスぐらいは教えて欲しかった)
- ・怪我やけんかをして帰ってきて子どもから聞くのみで状況が分かりにくい。
- ・怪我などがあった場合、担任から丁寧な説明を受けたい。
- ・園の敷地が広いのは魅力的な一方、園庭・園舎の裏で子ども同士トラブルが起きていないか心配になる。もう少し見回ってもらえると安心。

⑱ ご意見、ご感想など、どんなことでもご自由にお書きください。

*コロナについて

- ・来年度は新型コロナが5月に「5類」に移行する予定の為、行事ごとは今までのように全体で行って欲しい。
- ・5類への移行に合わせて行事の幅も広がると思うが、子どもたちの行動に対する幅を広げつつも、引き続きできる範囲でのコロナを含む感染症対策をしてほしい。
- ・給食時園児はマスク逆に不衛生。パーテーション不要かと。 2
- ・コロナとはいえ、ほかの幼稚園は行事をしているのにここは中止が多くて子どもたちが可哀想だった。

*園での生活について

- ・園での様子をもう少しマメに知りたい。連絡帳がないため、メモ書きやお迎えの時の口頭で良いので1日の様子を伝えて欲しい。 3
- ・幼稚園であつたいいこと、悪いこと、先生方が気になることがあれば教えて欲しい。親の耳に痛いこともアドバイスと一緒に言ってもらえると嬉しい。

- ・天使組から入園すると担任の先生とお話する機会が減り、そのギャップに戸惑うことがある。
- ・進学に向けて園としてどの程度までできるようになることが目標となっているか知りたい。家庭学習が必要であれば伝えて欲しい。
- ・昼食の時間が遅い。12:40は遅すぎる。
- ・雨の日でも行きたがるような何かがあると嬉しい。
- ・行事ごと等、その日にやらなければいけないことがあると思うが、天気の良い日にはなるべく少しの時間でも外で遊ぶことができると良い。
- ・週に2、3回はマット運動や跳び箱など、体を動かす時間を作って欲しい。
- ・体操の回数を増やして欲しい。

* 行事について

- ・遠足の場所、乃木浜公園を推薦します。トイレも割とある。駐車場の確保、広場の確保、奥には山のような登れるところあり。老の山より行きやすく、広く、安全性も低くはない。裏の山があるところは、反対側からも行ける。多子世帯にはいいのではないか。
- ・行事に未就園児を連れていくこともあるので、ある程度その行事のタイムスケジュールを知りたい。例えば春の遠足、集合場所に車を停めて、アスレチックのところで昼食を取り解散。集合場所からアスレチックまでの距離感や歩く時の所要時間、集合場所で体操を30分くらいしてアスレチックへ向かうなど分かっていると、その間に車をアスレチック側へ移動したりできると思った。首の座らない子や徒歩に時間がかかる1・2歳の子を連れて、機嫌の悪い時間に集合場所まで戻るとはかなり厳しい。
- ・参観はなぜ年1回なのか。もう少し見たい。学期に1回は見たい。 3

* 預かりについて

- ・長期休暇中の預かりがあまりにも少ない。特に夏休みのお盆明け～始園式までも預かりをして欲しい。仕事に正社員で復帰したくても、そこがネックで転園を考えざるを得ない。これからの時代、母親も社会復帰する時代。保育時間が延びれば園児も今後増えると思う。
- ・仕事をしているので、長期休み（春休み・夏休み・冬休み）の預かり保育の期間がもう少し長くなると助かる。
- ・早朝保育（7:30～）があると助かる。

* 園の設備について

- ・雪の日にロッカーの窓が開いており、そこで子どもが1時間近く薄着で過ごしていたようで、翌日に風邪をひいた。設備面について見直してほしい。

- ・池の近くの通路のすのこが少し足が滑りやすく感じるのですのこ以外に何かで代用するか、雨の日は違う方法でなど、、、改善できれば。
- ・夏の虫刺されがひどいので、何か対策をして欲しい。

*園への要望・疑問

- ・アンケートをするなら、結果は報告してほしい。
- ・行事や参加型の催しや持ち物等、早めに教えてほしい。午前保育や休園等も早めに伝えてほしい。慌てて作業したり、予定の見通しが立たない。 4
- ・園からのお知らせ等はマチコミをもっと活用するといい。(ペーパーレスになる。親もすぐ確認できる。) 2
- ・先生方の名前が分からないので、年度初めのお便りで顔写真付き紹介があると助かる。玄関に顔写真と担当クラスなど貼って欲しい。 2
- ・クリスマス会で映像を撮影される業者、親からの評判が良くない。先生たちはDVDを見たことがあるのか。業者を変えて欲しい。 2
- ・子どもの情報や行事等の詳細を先生方全員で共有、把握してもらっていると、聞く手間がなくなりスムーズな返答が正しく得られるので助かる。
- ・去年の保護者会から発表された寄付等の件はどうなっているのか。分からないまま時間が経ちすぎている。
- ・消防車を呼ぶ、園を訪問してくれる音楽家を探す、卵の殻に絵を描いてみる できますか？
- ・ビッケの目やにや爪が長いのが気になる。寒い時や暑い時はせめて玄関内に入れてあげてほしい。
- ・園のホームページを今後は他の方が閲覧を自由に出来ないようパスワードのあるものに変革するとよい。
時代の流れとともに個人情報流出などがみえないところでの良くないことがある。他の園、小学校も情報管理に重点を置いている。
- ・バスに乗らない場合や欠席の連絡が電話以外でもできるとよい。
- ・体操の年間スケジュールを知りたい。
- ・外靴・上靴の指定を緩やかにしてほしい。
- ・夏休みの始まりと終わりを小学校と合わせて欲しい。
- ・「働くお母さんのアイロンがけ」を楽にしてほしい。(例えば、ノーアイロンOKの生地ですブラウスや夏服を販売するなど)
- ・園内の咲いている花を千切って持って帰ったことがあり、「生きている草花は取ってはいけないよ」と注意すると「ほかのお友達もやっていた」と言っていたので、園内のもものは自由に取っていいのか？と疑問に思った。

- ・母の係決めについて、係によってA・B・Cさんの母の人数に偏りがあり、翌年度のAさんの母へ引継ぎがきちんとできるか心配に思った。ある程度、A・B・Cからそれぞれ人数を設けたり、兄弟のいる方や経験のある方に中心となってもらい係決めをしたほうが良い。コサージュやアイロンがけは主にAさんの母でした方がよいと思う。コサージュ、卒園製作についてはもめた経緯もあるので、きちんと係として人数を設けた方がよいと思った。
- ・色々な催しが全園児で出来ますことを神様をお願いしたいです。年長さんの集大成をとでも大事にされているんだなど昔感じた忘れられない感動を皆さんに味わって欲しいです。
- ・コロナ渦での3年間の園生活でしたが、先生方がたくさんの方の対策や工夫をして下さり、通常とは違いますが充実したものとなりました。
- ・今年度は行事も通常に戻りつつあり、子どもの姿をたくさん見ることが出来てとても嬉しかったです。参観の時に、机や椅子を一つ一つ消毒してから昼食を食べさせてくださっている様子を見て、頭が下がる思いでした。毎日細やかな配慮をありがとうございます。子どもも毎日楽しく、そしてのびのびと過ごしており、先生方に感謝すると共に、新しい1年もとても楽しみです。
- ・暁の星幼稚園で先生方にも本当に良くして頂きました。子どもたち一人ひとりを大切に見守り関わって下さり大変感謝しています。親子でホッとできるあたたかな場所・・・大好きです。
- ・言葉遣いもきれいで、丁寧に家のこともしてくれ、大変感謝しています。幼稚園で丁寧に大切に子どものことを見守って頂けているのだなとすごく実感します。
- ・子どもことをよく見てもらい、子どもの段階にあった接し方をしてくださっていると思います。園の先生方全員で見てくださっており、暁の星でよかったなと思っています。
- ・まだ通い始めたばかりで、親も子も探り探りの中、一日一日を過ごしているところで、お家でお祈りの言葉を唱えたり、先生のお話をたくさんしてくれるのでよく聞いていてすごいなあ子どもの成長をととても感じているところです。
- ・園の子どもたちが人に優しく接することが出来るのは先生方がそのように子どもたちに接しているからなのだろうと日々思います。家庭でも大人が子どものお手本になることを忘れず過ごしていきたいと思います。
- ・習い事でカードを一つずつ片付けたり、必ず椅子を直してから立つなど「お行儀がいいです。モンテッソーリ園に通われていますか？」と言われます。家でも片付けもきちんと出来ていますし、一つ一つのことを丁寧に順序よくしています。幼い時期に身につけたいことばかりです。その姿を見ると、園で子どものペースに合わせてくれているんだなど伝わってきます。何より毎日楽しそうに園に通っていることがいちばん嬉しいです。

- ・自由参観でたくさんのお仕事を見学でき、モンテッソーリ教育の素晴らしさを再認識できました。
- ・園の行事も少しずつ再開できて嬉しく思っています。先生方と子どもたちのやり取りを見ていると学ぶことがたくさんあります。子どもはもちろん親も暁の星幼稚園に育てて頂いた気がします。子どもたちの心のペースに先生から頂いた愛がしっかりあります。卒園してからも、その愛情を自信にかえて過ごして（成長して）もらいたいです。
- ・Cさんの頃は玄関で大泣きしていた子が、今では土日になると「えー幼稚園お休みなの!？」と残念がるようにまで変わったのは先生方が毎日優しく寄り添ってくれたお陰だと思っています。暁の星幼稚園に出会えたこと、本当に感謝でいっぱいです。
- ・朝の身支度をしたり、帰宅してからの幼稚園用品のお片付けなどなどこの1年でできるようになったことがグンッと増えたように感じています。転園してきたのでいろいろと不安でたまりませんでした。が、子どもの「今日も幼稚園たのしかった!!」の声を毎日聞けるので暁の星にきてよかったなと心から思います。自分で選択できること、自然や命に触れ合えること、本を借りられること、給食がとてもおいしいこと、先生方がみなさん優しいこと・・・これからも何卒よろしく願いいたします。
- ・とても楽しい」幼稚園生活でした！毎朝必ず「幼稚園行こう！幼稚園行きたい！」と子どもが喜んで言っています。仲の良いお友達、大好きな先生方に恵まれ、本当に暁の星幼稚園に入園してよかったと思っています。上の子たちにとっても暁の星幼稚園は特別な場所です。大人になっていつか自分の子どもが生まれた時は同じように自分たちの通っていた暁の星幼稚園に通って欲しいそうです。こんなにあたたかく、愛に溢れた幼稚園に出会え、幼いころの3年間であってはずっと心に残り続ける場所であることに、親として私も感謝しています。これからもどうか子どもたちの成長を見守ってください。

第3部 参考（以下は令和3年度の学校評価です。）

- Q1. あなたはいつもねらいを心がけて日々を送りましたか。 令和4年度
- | | | |
|------------|---|----------|
| 1, はい、いつも | 2 | <u>2</u> |
| 2, 大体いつも | 4 | |
| 3, 時々思っていた | 8 | |
| 4, 全く忘れていた | 0 | |
- Q2. Q1で1、2と回答した方は、ねらいを心がけた結果どうでしたか。 2
- | | | |
|------------|---|----------|
| 1, 達成できた | 0 | <u>2</u> |
| 2, 大体達成できた | 5 | |
| 3, 努力はしてみた | 4 | |
| 4, 出来なかった | 0 | |
- Q3. 自分から発信することができましたか。 1
- | | | |
|----------|---|----------|
| 1, できた | 0 | <u>1</u> |
| 2, 大体できた | 5 | |
| 3, 努力はした | 8 | |
| 4, 難しかった | 0 | |
- Q4. 自分から気づくことはできましたか。また、気づこうとしましたか。 2
- | | | |
|----------|---|----------|
| 1, 出来た | 0 | <u>2</u> |
| 2, 大体できた | 7 | |
| 3, 努力はした | 6 | |
| 4, 難しかった | 0 | |
- Q5. 相手が発信したこと、気づいたことを受け止め、育ち合うことはできましたか。 1
- | | | |
|----------|----|----------|
| 1, 出来た | 0 | <u>1</u> |
| 2, 大体できた | 11 | |
| 3, 努力した | 3 | |
| 4, 難しかった | 0 | |

Q6. このねらいを通して感じたことを、自由に書いてください。

- ・話し合いの時にたくさんの意見がでて、良かった。
いろいろな意見がでて、みんなで考える時間が昨年より多かった。
みんなで声をかけ合えて良かった。
- ・自分が1年目ということもあり、周りを見ながら動くことが多かったため、それが気づきにつながったと思う。発信は少し難しかった。
- ・時間に追われ、ゆっくり先生方と話すことがない日もあったが、気づいたことを伝えられる環境、雰囲気を受け止めてもらえるので、このねらいは良かったと思うし、先生方もできていたと思う。
- ・“受け止める”ことを意識するようにしました。
- ・よりよくするためにする気持ちを強く感じた。
- ・子どものことを一番に考えた発信や気づきだったと思う。
- ・何でも発信することで、職員みんなが気づくことができると感じた。
- ・全職員で“～し合う”心をひとつにして子どもたちのことを守ることが出来たように感じました。自分自身ねらいを頭に浮かべて日々を送っていなかったことに反省です。
- ・気づいたことを発信していくことはとても大切だと思うので、一人で考えるのではなく、どんな小さなことでも発信できる環境が作れるといいと思った。
発信したこと、発信されたことはまず受け止め、そこから園にとって、子どもたちにとっていい環境をみんなで一緒に考えていけるといいと感じた。
- ・コロナ禍で例年通りのま行事や活動が難しい分、特に職員で見直し、話し合う機会も多く互いに発信と気づくことはとても大切に感じられた。そしてまだ終息の見通しが立ちにくい状況の中、経験、実行してみたことを経て育ち合うことで新たな発見や気づきがあり、反省を次はこうしてみようと改善につながる。新年度では子どもたちにとってより良いものになっていくと思うため良かった。ただまだまだ不安定な状態だからこそ新しいねらいを決めても継続しつなげていくことも大切だと感じる。
- ・子どものことを終礼で発信し、共有することはできていたのではないかと思う。それぞれのクラスの教師で密に連絡を取り合っている姿がたくさんあったように思う。しかし、職員間はまだ年長者は色々な会議や話し合いで自分の思ったことを発信できるが、若い先生たちは言いにくいのだろうと感じる。個人的には色々な物事に対して一人ひとりの先生がどう思っているのか知りたいから、そこを年長者がリードして若い先生も自分の考えが言える環境を作りたい。

- ・コロナの感染防止対策や、行事の変更についてはそれぞれが自分の意見を発信し合い、また受け止め合い、“暁の星幼稚園として子どものためにどうするか”考えることができたと思う。しかし、話し合いや自分の思いを言う場面になると若い先生たちはまだまだ発言し辛そうに感じる（上の先生たちは徐々に自分の思いを話してくれる機会が増え、嬉しく思っている）。上下関係なく誰でも思ったことを言えるのが理想ではあるが、どうしても難しい部分がある。私は大勢がいる場で自分の思いを言うことだけが発信だとは思わない。今年はコロナの問題で難しかったのもあると思うが、やはり園長先生（園長先生が忙しい場合はそれに代わる先生）と1対1で話をする時間は定期的にするべきだと感じる。若い先生がみんなの前では言えない思いを発信する場を持ち、上の先生だけでなく若い先生がどう思っているかを知っておくことは大切なことだと思う。
- ・職員間も発信し合うこと、それを受け入れることを努力しました。保護者に対して話をする機会もコロナ禍で出来ず、暁の星は子どもたちの命、家庭の事を考えて早め早めに対応したことを、他の園はしていないのに…との意見も聞いたり、預かりはしているのに…との意見等があった。もう少しわかりやすく理由を発信するべきだったと反省している。

Q7. 改善した点…退勤時間について

「終礼を16時からと決め、終わり次第、一度退勤時間（残りたい人は残って引き続き仕事をする）として解散する」とした結果どうでしたか。

- | | |
|-------------|---|
| 1, 良かった | 5 |
| 2, まあまあ良かった | 2 |
| 3, あまり変化がない | 4 |
| 4, 全く変化がない | 0 |

2

Q8. 一年を通して感じたことを自由に書いてください。

- ・昨年に比べて、退勤時間がとても早くなった。引き続き、続けていけたらいいと思う。
- ・コースに通いながらの1年でした。コースも幼稚園行事もコロナの影響で中止になることが多く、思うように動けないことも多かったです。そんな中でも、子どもたちと過ごす中で、子どもたちの前向きな考え方、捉え方に励まされた1年だったと感じます。コースでの勉強も、モンテッソーリについて深く学び、驚きや発見がたくさんありました。来年度も子ども一人ひとりと向き合っていけるように頑張りたいです。
- ・終礼の後、休憩をもらえたり、掃除も手伝ってもらえて、預かりの仕事の帰りの時間は早くなって助かりました。
- ・この1年間、コロナ禍の中、先生方は子どもたちのためにできることを努力してこられ、預かりもやってこれたと思っています。

- ・コロナの感染拡大により、行事だけでなく日常の園生活も対策を考えながらの毎日を送った1年でした。マスクをしての生活の中で子どもとの関わりを通して感じる様子・変化を職員間でねらいを心の中に入れて過ごすことは自分にとってもとても大切なことでした。ゆっくりと分かち合うことが難しくても、時間を見つけてその時に話すことで、時間の大切さも感じました。
- ・今回の年間のねらい・改善点も含め、職員一人ひとりが意識をしてみんなで“良い職場づくり”をすることができていたと思う。引き続き、今回のねらい・改善点を意識していきたいと思う。
- ・4年目は3年間で学び、いただいた資格を土台とし活かせるよう意識をして過ごしました。この1年は初めて体操を主でさせていただき、たくさん実践することができました。先生方の優しさ、あたたかさを改めて感じた1年間でもありました。子ども一人ひとりを一緒に見つめ、一緒に悩んだり、解決策を考えて下さり、本当に感謝の日々でした。
- ・気づいたことは発信してきたつもりだが、やはり今までの歴史や伝統を考えてしまうと、気づいたことも言えずにいたことが多かったなと振り返ってみて思った。
- ・効率よく仕事をすすめていけると良いと感じた。行事前ギリギリになって必要なものをそろえ始めたりするのではなく、もう少し余裕をもって準備できたら良いと思うことが多かった。
- ・少しでも早く職員が退勤できるように、いろいろ変えてきたと思うが、効率的に仕事ができれば、もう少し改善できるのではないかな…と思う。
- ・その人にしかできない仕事もあるが、もう少し仕事を分担できたら、1人にかかる負担が減るのでは…
- ・退勤時間の改善が難しく感じていて、預かり保育との兼ね合いがあり自分の仕事が終わらない、また帰り辛さを感じることもある。上の先生が残っているのを見ると自分だけが先に帰るのが気になる。ある程度区切りをつけて帰るようにはしているが、全職員がなるべく早く帰れるよう終礼も必要なことをしっかり伝え、効率よく時間を使いたい。担任は仕事量も多く大変だとは思いますが、お仕事の練習を時々短い時間でも見てもらえると助かる。自分もなるべく見てあげたいと思っているが、毎日は難しいため分担できると良い。
- ・今年度もコロナのことで、判断が難しかったと思うが、年長だけでも参観を行ってもよかったのでは…と思う。日にちを決め、時間を短くする方法を考えてするなど。また令和4年度の参観の時期もコロナが流行っているかもしれないが、少なくなったときをみて、幼稚園の様子を見せてあげたい。母親は少しでもいいので見たいと思う。
- ・Q7について16時と決めていてもなかなかその時間から始められていなかった。まだみんなの中で定着していないのかなと思う。

- ・すべてのことがギリギリになってしまうところがあるので余裕を持って行動できるようにしていきたい。
- ・職員が発信したことや提案したことがその場では決められないのはわかるが、そのまま期間が延びていって、いざその場になって考え出してしまうので判断が遅れたり、多くの時間を取ってしまったたり、どうしていくのか話を詰めていく時間が必要だと思う。
- ・預かり保育が18時までで、残業時間が18時まででは改善する必要がある。
- ・園長先生との面談が1年間なかったなので、もう少し話す時間を持ちたい。
- ・担任が預かりの外遊びに出してしまうと、2バスの先生は終礼まで自分の仕事をする時間がない。
- ・1バスは1バスの先生、2バスは2バスの先生がバスに乗ることで、1バスの先生は仕事をする時間が確保できるようになった。
- ・退勤時間の改善についてはやはり難しいなと感じています。しかし、全員が意識することで以前よりは少し早くなったのも確かです。預かりの担当は決まっても18時までには帰り辛い、、上の先生が帰らないと下は帰り辛い、、早く帰りたいけど、仕事が終わらない、、いろいろな理由があると思います。担任も遅くまで残って仕事をしていることが多いです。仕事量に関しては、暁の星幼稚園の良いやり方は残しながら、簡略化できるところは少し考え工夫していく必要があると感じています。職員が心も身体も健康に働けることが、“良い保育”につながっていくと思うので、来年度は今年度以上に就業についてもみんなで話し合っていきたいです。
- ・どの時間を省略すると時間を有効に使い、退勤時間も早くなるかと声があがり、退勤時間については変化があったと感じています。(行事等が課題です。) 預かり保育の外遊び、5時半からの預かりの当番も気持ちよく気づき合いながら動いてくれていることに感謝している。コロナの対応については、国から、県から、市からの対応が色々変わり、感染者…濃厚接触者…の件などの判断に苦しんだ。職員はよく頑張ってくれた。しかし、責任を取るものとして辛い1年だった。
- ・ちょっとした気づきでも言葉にすることで考えるきっかけとなり、Q7の退勤時間も今までと比べ早く自分の仕事をする事が出来たため改善してよかった点である。終礼での報告内容も少し改めたことで短縮につながっている。暁の星幼稚園だからこそ大切にしている所は変えずに進ながら、少しずつ仕事がスムーズに効率よくみんなが働けるような改善は良いと思う。一人ひとりが考えや思いを少しずつ言えているように感じるため、より素敵な職場環境、子どもにとっての保育であり続けるよう良い所を継続してほしい。この1年は特に大切な1年間だったと思う。改めて先生たちや子どもたちの温かさを感じ、感謝ができた。自分の子どもを入れたいと思えるほどの保育環境も雰囲気も、魅力がある園。暁の星幼稚園が大好き。これからも素敵な園でありますように。

学校評価委員会 総評（評価委員代表書記）

◎今年度の目あてについて

- ・ 去年よりも、具体的な目標を設定したことで、職員間でも共有しやすく、イメージしやすかった印象。
- ・ 暁の星幼稚園が、子供たちの「いま」を見つめて子供たちを一番に考えている、という
対外イメージも明確になるので、目あてについて、保護者や天使組に対しても、こ
ういう目標を持って職員間で情報共有しながら保育しています、ということを保
護者にお伝えすると良いと思う。

◎職員アンケートについて

- ・ 目標設定が明確になり、また、職員間の情報共有に力を入れたこと（パートの先生にも
情報を共有したり、話し合ったりすること）で、去年よりも風通しが良くなり、職場環
境が改善された印象を受け、とても良い変化を感じる。
- ・ 終業については、働き方改革の観点から早く帰ることが必要だが、家に仕事を持ち帰っ
たりしては意味がない。効率的な仕事の処理もまだ必要だという印象だが、まだどうす
ればいいかは検討の段階なので、若い先生にも話を聞いて、まずは課題を明確にあぶり
出す必要がある。
- ・ 職員が自主性と選択する喜びを感じるためにも、仕事の担当の割り振りを行い、それぞ
れが責任をもって自主的に行動できるようにする。信頼されることは働く意欲にもつな
がる。
- ・ 今後育休明けの先生が帰ってくると、時短勤務なども必要になる。時短勤務をする先生
が罪悪感を感じないように、職員みんなが大切にされる意識が必要。ボードなどに1週
間で早く帰りたい時間の予定を書くなど、終業予定時間を書くようにすれば、作業効率
も上がり、お互いにサポートしやすくなるので、週1回からでもよいので、始めてみる
とよい。

◎保護者アンケートについて

- ・ 子供たちのために一生懸命してくださっているという高評価も多く、不安を感じている
保護者は少ないようだが、不安を感じる場所を明確にして、丁寧に情報提供を行うこと
が必要。

- ・アンケートであがってきた意見に対しても、納得できる説明を行うことも必要
- ・コロナで話す機会が減っているので、先生方に春の間は担当クラスと名前の名札を付けるなど、わかりやすい工夫をするとよいのでは。
- ・行事ごとにクラスを越えて先生が子供たちを担当していることや、園のすべての先生が保育にそれぞれ関わっていることを、園長先生のお話やお手紙などで触れて、園全体で保育しているということを周知するとよい。
- ・ペーパーレスできるものについては、アプリを積極的に活用していく。
- ・これまでよりも丁寧な説明、納得いく説明が求められている現在の状況を認識する
- ・子供の様子を知りたいという方は、先生にどこまで見ていただいているのかわからなくて不安である現れ。バス降車時、お迎えの時に一言こどもの様子を添える（バスに乗る先生に、軽くメモを取っておき、給食の時間などに少し抜けて担任から情報共有しておくなど）と、きちんと見ていただいていると信頼できるし、それが、園全体で子供を見つめるという印象につながることもある。

◎自己評価について

- ・ねらいが分かりやすく、振り返りやすい。具体的になっていてよかった。
子どもについて、よく評価できている。
- ・職員同士のコミュニケーションがとれているからこそ、明るい雰囲気を感じる。

・終礼について

→毎日必要なことなのか？忙しい時間から始めるのではなく、時間をずらしてもよいのでは？又、忙しい時期はしなくてもよいのでは？

↓

その日の子どもの様子を皆で共有できるのは良い。

園によって終礼の形が違い、雑談の中で子どもの様子を話す園もあるが、その場合だと、若い先生が発言しにくい。終礼の時間を決め、座って話せる形にしたら若い先生も話しやすい。

終礼の時間を遅くしてしまうと、その分帰りも遅くなるのでは？

・帰宅時間は改善されているか？

→以前に比べると早く帰宅できるようになったが、後輩の職員は、まだ帰りにくい雰囲気がある。

↓

一斉に帰るから帰り辛い？

時短をもっと有効的に使っていけるようにしては？

帰りやすい雰囲気を少しずつ作る。早く帰る罪悪感をなくすように。

帰宅時刻を自己申告（表に書く）→仕事の優先順位を立てられるようになる。

↓

仕事ははかどる。効率がよくなる。職場の雰囲気もよくなる。

まずは、週一から始めてみては？

- ・他の企業も、働き方改革で早く帰るようになっているが、休日出勤をしたり、家に持って帰って仕事をしてしまうと意味がない。勤務時間内に効率よく仕事を終わらせるようにしていかないといけない。

- ・仕事の分担について

→仕事量が偏っている。一人（特に主任）の負担が大きい。

仕事を分担することが大切。気付いた人が動くのではなく、分担できるところは分担していく。

↓

今までやり方が全てだったので、どれが自分がやらないといけないことなのか、どれが分担できることなのか、線引きが難しい。

↓

仕事の内容を共有していかないと、深まらない。責任がないと動かない。

後輩の先生たちに任せる＝信頼されていると感じる。自信になる。

分担することは職員間のコミュニケーションにもなる。

◎学校評価について

- ・クリスマス会の映像、定点カメラで良いのでは？画質、暗さの問題以前から上がっている。対応できないのか？値段は下げられないのか？

→値段については、その業界の協定で定められた値段があるのではないかと。ただ、業者にも意見としてきちんと伝えるべき。保護者も業者に伝えてもらったと分かれば安心できるのでは？

- ・マチコミをもっと活用すべき。メールだとすぐに見返せる。ペーパーレスにもなる。

なかなか既読にならず、皆が確実にメールを見ているかの確認をするのは、とても時間がかかる。大切な文章はやはり紙面の方がよいと思う。

ただ、今後は、マチコミを併用していける内容に関しては活用していく。

- ・職員の顔と名前が一致できない。4月の間だけは名札をつけるのはどうか？
→クラス担任だけでなく、皆の職員が子どもと関わっているということが見えてこない。運動会やクリスマス会等、担任以外の職員が関わっているということを、もっと保護者に知らせていく必要がある。園の先生が見えない、分からないというのは、そういうことも原因の一つではないか？



園長先生からのおたよりに担当の先生を載せたり、いろいろな先生が、バスやお迎え時に一言だけでも子どものことを伝えるだけでも保護者は安心できる。

- ・保護者 係決めについて
→以前から問題にはなっている。どの係がどれだけの人数必要なかを係決め前にきちんと伝えておくほうが良い。また、係の仕事内容も事前に知らせておく。
年少児の保護者は分からないことが多い。
年長児の保護者の係については、引き継ぎ書はあるが、下の学年にきちんと引継ぎされていない。
→マチコミで先に知らせてもよいのでは？マチコミで情報をどんどん発信していくことで、閲覧する頻度も増えてくる。
- ・遠足の場所について、見直すか？
→遠足場所の見直しの意見が出ているなら、現場所にする理由を、保護者にも納得していただけるようきちんと説明する必要がある。